



景色

SCENERY

佐々尾先生の
エンジョイ
ライフ!

隣の初山別村の金毘羅神社
が「インスタ映え」すると
人気だそうです。

Nature



ラーメン

RAMEN



食べ歩きが好きです。
カリフォルニア、Q
が札幌でお気に入りの
ラーメン屋。

Food



最近ではコロナ禍であまり足を運んで
いませんが、札幌の幌見峠のラベン
ダーがきれいでした。

甘エビ

SWEET SHRIMP



海鮮丼もおいしいですが、おすすめは
甘エビの押し寿司。絶品です。



競走馬

RACEHORSE

馬券は買わないのですが、
競走馬を見るのが好きです。

Outdoor

PROFILE

佐々尾 航 先生

WATARU SASAO

- 2006年 自治医科大学 卒業
- 2009年 利尻島国保中央病院
- 2011年 自治医科大学 消化器内科
- 2013年 北海道立羽幌病院
- 2017年 北海道立羽幌病院 副院長

地方で医師がストレスを
抱えずに医療を継続していく
ためには

佐々尾先生は現在、単身赴任生活を
送っている。週末になると2時間ほど
車を走らせて札幌へ。妻子の待つ自宅
へ帰り、月曜には羽幌に戻る暮らしを
続けている。札幌に自宅を構える理由
は子どもの教育だという。子どもの将
来を考えると、単身赴任という選択は

現実的な話である。一方で地域医療に
携わるには、その地域に住む住民なら
ではの視点が重要だ。佐々尾先生も家
族と共に羽幌町で暮らしたことがある。
地域や人々、生活文化を知った上で携
わると、仕事も円滑に進むことだろう。
地域と仕事、家族のバランスを考えて
暮らし方の選択をしていくべきだ。

佐々尾先生からのアドバイスは「北
海道での勤務に不安があるなら、まず
札幌や旭川、函館などの都市の病院を
選んでみては」というもの。最初は
暮らしに慣れることを優先する。次の
ステップとして地方病院や診療所など
へ行くという手もあるのだ。「私の札
幌の家は雪かきが大変。マンションに
すれば良かったかな、と思うことも」。

北海道出身の佐々尾先生でさえ、暮ら
してみてもわかることがあるのだ。

北海道で医師として働く選択肢は多
い。地域に寄り添い働きたいなら、へ
き地中核病院や診療所。専門医として
なら人口数万人規模の市立病院。高
度な手術をしたいのであれば、札幌や
旭川、函館などの都市の病院を選ぶこ
ともできる。「北海道には179も市
町村があります。その中にきつと、自
身のキャリアにあった働き方ができる
病院があると思います」。それぞれの
考え方や可能な範囲で、地域医療に貢
献してほしい。広い北海道だからこそ、
多様な働き方をしやすいのだ。



北海道立病院局
北海道立羽幌病院

住所 〒078-4197 苫前郡羽幌町栄町110番地
TEL 0164-62-6060
URL <https://haboro.hospital.pref.hokkaido.lg.jp>

診療科目

内科、外科、小児科、整形外科、
耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科、
皮膚科、泌尿器科、精神科、
リハビリテーション科

